

BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 30号 (2018年12月発行号)

Vol. 30

トピックス ……夜間に出動。海中転落者を救助。県内プレジャーボートの海難隻数が2倍に増加
海上保安庁との小型船安全協会に関する意見交換会、ざぶん賞2018表彰式
活動報告 ……マリンレジャー安全推進週間出動式、海難救助訓練、夏のイベント、小中学校「海の授業」
行政から ……金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品 © ポートマンズエッセイ・海とおじいちゃんと僕



118通報に、夜間に出動。志賀町沖合で海中転落者を救助。

8月5日 羽咋支部

当会理事で羽咋支部、事務局長の山辺 功氏、および同所属の池田 悟氏は、8月5日未明、志賀町の沖合で2人乗りのプレジャーボートから転落した船長の男性を救助し、対象のボートに乗り移り、滝港マリーナまで運びました。

当日は夜で、1メートル以上の波の厳しい状態の中、118通報を受けて、2人は滝港マリーナを池田氏のボート（いけだ丸）にて速やかに出港。暗闇の中、現場で事故の船に乗り移り、ロープをつかんでいる男性を連携し引き上げました。

たいへん過酷な状況の中、使命感を持って出動した2名の素早い行動が、間一髪の救助となりました。



重要

石川県のプレジャーボートの海難隻数が昨年の2倍に増加。

29年度の石川県のプレジャーボートの船舶事故件数は9件で、ほぼ前年並でしたが、今年30年度は前年比の2倍という結果で、大幅に増加しました。

主な要因は機関故障、乗揚、推進器障害などで、出航前の適切な整備や見張りの徹底により未然にできた可能性があるものです。日ごろの整備や出向前の点検を行えば未然に防げた事故です。

会員の皆様には、もう一度原点に帰って、安全意識を強く持ち、ボートの点検はもとより、運行マナーの徹底に努めていただきますようお願いいたします。

平成29、30年 第九管区内 用途別海難事故発生件数

	石川県	富山県	新潟県	合計	
年度	30※	29	29	29	
漁船・遊漁船	10(-2)	12(-3)	1(-5)	10(0)	23
プレジャーボート	18(9)	9(1)	12(4)	14(-5)	35
貨物船	4(3)	1(-1)	1(1)	4(4)	6
その他	2(-1)	3(3)	3(3)	2(-3)	8
合計	34(9)	25(0)	17(3)	30(-4)	72

※30年は11月までの速報値 ()は前年度比増減

今後の全国の小型船安全協会の在り方について、海上保安庁と意見交換。

10月26日 金沢市

本年4月に海上保安庁の交通政策審議会から第4次交通

ビジョンとして「船舶交通安全をはじめとする海洋安全のさらなる向上のための取り組み」が答申された中で、全国の小型船安全協会の活性化も課題とされています。

海上保安庁からは、当会の活動に評価やご感心を頂いており、交通部安全対策課海難防止対策官の濱中氏、同プレジャーボート安全対策係 東福氏、第九管区本部交通部長田中氏、同安全対策調整官 三国氏ら4名が来訪。金沢海上保安部交通課長 中野氏、係長佐々木氏とともに金沢市で意見交換を行いました。

出席した岡川会長は、会員の高齢化と若い方の価値観の変化を背景に、入会や維持を促進するため、安全協会にも何か新たな機能が必要な段階になったと意見し、今後も同庁に協力する旨を伝えました。

ざぶん賞2018(第17回)の表彰式が開催。各省庁からの賞も交付。

12月3日 金沢市

当会が、2002年の「海の祭典」で1回目を開催。その後全国に拡大、発展を続けてきた「ざぶん賞」も17回目を迎え、金沢市のホテルで表彰式を行いました。

応募数は全国の小中学生から8,805作品。当会の各支部から学校などに事業の紹介を行い、金沢市をはじめ小松、白山、輪島、珠洲など各市町の生徒からも多くの応募がありました。

委員長の月尾嘉男氏（東京大学名誉教授）、および当会顧問の馳 浩氏（衆議院議員）からご挨拶をいただき、各賞の授与が行われました。



文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞が交付。

昨年に続き、文部科学大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞に加え、国土交通大臣賞がはじめて交付されました。海上保安庁長官賞は、金沢海上保安部長の加瀬氏から授与されました。

石川県内の入選者には、県知事賞、県教育委員会賞、金沢市長賞、うみまる賞（金沢、七尾両海上保安部長表彰）、ソロプチミスト金沢賞が交付されました。



総会開催。事業計画・予算が承認。 臨時総会で、定款の一部変更が承認。

総会／2月24日 金沢市

当会員、および来賓の皆様、約70名が出席し、通常総会が開催されました。岡川会長は、これまでの活動の意義や成果を述べる一方、海を伝えていく仲間のあり方や、若い人を含め、県全域に広く会員入会を促進することの必要性など述べました。

議案審議では、安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底を県内各地で行うこと、係留保管場所整備、海洋体験推進事業、文化創造事業などの計画が承認されました。



臨時総会／9月8日 金沢市

今年のNPO法改正に伴い、資産総額を登記する義務がなくなり、一方で法人自身が貸借対照表を公示する義務が生じました。そこで公示は官報記載と限定していた定款内容を緊急に変更する案が提示され、臨時総会を開催しました。同時に役員任期や選任に関する表記も見直され、承認されました。

マリンレジャー安全推進週間出動式

4月27日 金沢港(金沢支部)

4月30日 七尾港(能登支部)

大型連休前のマリンレジャー安全推進週間の出動式を、海上保安部の協力のもと行いました。

金沢では金沢港護岸周辺と、港内のパトロールを行い、レジャー活動者に安全の指導を行いました。

七尾では七尾警察署や県警警備艇も参加し、港内のボートへの安全指導を行いました。



海の事故ゼロキャンペーン、出動式

7月22日 七尾港(能登支部)

海の事故ゼロキャンペーンの実施期間初日に併せ、七尾海上保安部と合同で、出動式を行いました。

その後、当保安部管理の機動艇と安全パトロール艇によ

り、官民一体となった七尾港内のプレジャーボートに対する安全指導等、海の安全推進活動を実施しました。



各地で海難訓練を実施

海難訓練／6月3日 小松安宅沖、
6月10日 羽咋滝港沖、9月30日 珠洲飯田港沖

小松、羽咋、珠洲で、水難救済会との合同海難訓練を実施しました。各地区で金沢・七尾海上保安部の協力で、信号紅炎取り扱い、海上搜索、転落者救助、曳航などの一連の訓練が行われました。



防災訓練／6月24日 穴水町

穴水町で水難救難所、他関係機関と合同で、能登半島東方沖を震源とする大地震が発生したという想定のもと、町全体での防災訓練が行われました。その中で、当会会員(中居マリン協会)は漂流者救助訓練を行いました。



指導員講習会、各クラブでの安全講習会を開催

海上安全指導員講習会／
2月25日 金沢市(金沢・加南・羽咋支部合同)、
11月4日 七尾市(能登支部合同)

各地区での安全講習会／
3月4日 白山市、3月11日 小松市、4月21日 穴水町、
4月22日 加賀市橋立、5月11日 加賀市塩屋、
6月1日 七尾市、6月10日 羽咋市、9月30日 珠洲市

海上保安部の協力を経て、海上安全指導員を対象とした、合同の安全講習会が金沢と七尾で開催されました。また、各クラブでの安全講習会を各地で開催しました。





海の安全教室

- 6月18日 金沢市立粟ヶ崎小学校(6年生 75名)
- 6月19日 社会福祉法人わかば保育園(83名)
- 7月17日 白山市立東明小学校(2年生 84名)
- 7月25日 白山市立わかみや児童センター
(若宮保育園50名、一般20名)

手取会は学校や保育園で「海の授業」を開催しました。講師は金沢海上保安部の池田次長、交通課の中野課長、佐々木様、塩井様、灰谷様、警備救難課の永江様、中川様、管理課の堀川様、巡視船の小久保様らご担当。

幼児や低学年の皆様にも関心を持ってもらうため、海上保安部のキャラクターの「うーみん」も参加し、クイズ形式で授業を行いました。

夏のイベントを各地で開催

ボート天国・マリンスポーツチャレンジデー 7月16日 七尾港

恒例となった七尾港の体験航海「ボート天国」が開催されました。200人以上の多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。七尾マリン協会、雌島クラブが協力しました。



親子ボートフィッシング大会を開催 7月15日 加賀、22日 小松・美川

加南支部の小松マリンクラブ、手取会、および加賀マリンクラブがそれぞれ小松(安宅)、白山(美川)、加賀(塩屋)の沖合で、親子を対象としたボートフィッシング大会を開催しました。

加賀では18名、小松で49名、美川では15名の親子が参加しました。

美川では笠間公民館の関係の子供ら45名の皆様に体験クルージングも行いました



職業講話授業

12月3日 白山市立松任中学校(1年生 25名)

海上保安部や当会がどのように役立っているのか、海上での安全活動について、また海上保安部の仕事をより知ってもらい、保安官になるための方法や知識を学びました。



県民の森の植樹、草刈りを継続。クリーンビーチに参加

5月18日、7月1日 加賀市 山中県民の森

大協マリンクラブは、毎年の恒例事業となっている、山中県民の森での草刈りを実施しました。

災害時の洪水を防ぐことや、魚に必要な川への養分を蓄えることが目的です。



小中学校での「海の授業」を開催。

体験航海

7月2日 珠洲市立直小学校(5・6年生 22名)

長浜マリン協会は、小学生の課外事業の一環として、5・6年生を対象に、体験航海を実施しました。

5月27日 金沢市・内灘町、6月10日 小松市、
7月1日 七尾市(能登島)

今年も各地でクリーンビーチ石川に参加しました。金沢では57名、小松では85名、七尾では20名がそれぞれの海岸、河川の清掃を行いました。



県海面利用協議会に協力、参加。

11月19日 委員会(石川県庁)

本年度の県海面利用協議会が石川県庁で開催。同会の副会長を委嘱されている濱田理事が出席しました。会では遊漁船の飲酒運転の事例が報告され、今後の対策について意見交換がなされました。

●石川県総合防災訓練の海上輸送訓練は中止に。

今年の石川県総合防災訓練で、当会は羽咋市の滝港マリーナで物資を海上から輸送する訓練に参加予定でしたが、直前の豪雨被害の影響もあり、中止となりました。



スナップ

安全確保活動
上/海難訓練(珠洲市飯田港)
下/ゴールデンウィーク安全出動式(七尾港)



海の教室(珠洲市、金沢市、白山市)
左上/わかば保育園、右上/東明小学校
中段/わかみや児童センター
左下/直小学校、右下/松任中学校



親子ポートフィッシング大会、体験クルージング
(白山市美川沖)

各種会合

左上/総会(金沢市)、右上/小松マリンクラブ総会での海難講習会(小松市)
左下/能登支部総会での安全指導員講習会(七尾市)
右下/臨時総会(金沢市)でのご挨拶
当会顧問 衆議院議員 佐々木 紀氏、同 西田昭二氏

ざぶん賞表彰セレモニー(金沢市)

左下/全国から参加した受賞者
中上/当会顧問 馳 浩氏ごあいさつ
右上/百鬼丸氏による切り絵パフォーマンス
中下/選考委員長 安部龍太郎氏と受賞者
右下/海上保安庁長官賞受賞者

